

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020100		事業の種類	1	
年度	23	事務事業名	母子家庭等医療費給付事業		予算事業名	母子家庭等医療費給付事業 重要度 5	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民環境部市民課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	石井 義宏
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	母子家庭等医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	母子家庭等医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)		事業完了予定年度	(年度)	

2 事業の概要 Do

実施の概要		母子家庭等の医療費の一部を助成する				
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	助成費	円	11,255,511	13,897,991	10,894,684	14,560,000
	助成件数	件	3,984	4,497	3,981	4,600
	平均受給者数	人	462	489	417	520

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.261	0.235	90	0.224	95	0.258	115	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.031	-	0.026	84	
支出内訳	人件費	2,358,070	2,130,543	90	2,156,621	101	2,360,532	109	
	事業費	11,255,511	13,897,991	123	10,894,684	78	14,560,000	134	
	合計	13,613,581	16,028,534	118	13,051,305	81	16,920,532	130	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	6,504,000	5,351,000	82	5,447,342	102	7,280,000	134	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,109,581	10,677,534	150	7,603,963	71	9,640,532	127	
合計	13,613,581	16,028,534	118	13,051,305	81	16,920,532	130		

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	\
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの母子家庭等医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標	24,281	25,000	103.0	29,700	118.8	28,000	94.3	
	実績	24,363	28,421	116.7	26,126	91.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		母子家庭等医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	805	-	513	63.7	
	実績	592	474	80.1	542	114.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性			
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の母子等に対し、適正な医療費助成を行うことにより、目標が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	増加傾向にあるコストの節減を図った。	5
	執行体制の効率性	事業実施にあたり迅速、適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	医療費の動向を注視しながら、事業を継続していく。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	適正な受診の周知を図る。

配点	25
総合評価	25